

One Kobe Family



～神戸から世界へ、世界から神戸へ～
知と人と価値を創造する神戸大学

神戸大学基金 趣意書

神戸大学が進める異分野共創研究教育グローバル拠点構築の
取り組みへのご理解とご協力をお願いします。

ひとりひとりが輝き、世界に誇れる神戸大学を目指して ～神戸大学基金へのご協力をお願いします～

日頃より神戸大学の研究・教育、ならびに社会貢献活動へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

かねてより本学では、「異分野共創型の先端的卓越研究教育グローバル拠点」の構築を目指し、さまざまな改革に挑戦しています。2025年度は、先立って設置した大学院システム情報学研究科に加えて、AIやデータサイエンスなどの専門性を土台に社会課題の解決と新たな価値創造に挑むシステム情報学部を創設して研究・教育の一貫性を高めました。さらに2026年度は、大学院の医学研究科と保健学研究科を統合し、それぞれの専門知から総合知を導き推進する医学系研究科を設置しました。今後も、本学ならではの知見の集積や研究人材のコラボレーションを可能にする組織運営など、研究・教育両面の深化と地域社会や国際社会への貢献を目指す、多彩な価値創造の取り組みを行ってまいります。

一方で、本学のさらなる発展のために、研究・教育の環境整備と学生・研究者への経済的支援、神戸大学の社会的活動の活発化などについて、一層の財政的基盤強化が不可欠となっています。『神戸大学基金』は、経済的困窮や厄禍により学業継続に困難をきたす学生への支援、博士課程進学者や若手研究者への経済的サポート、海外留学・派遣や海外留学生受入れの助成、課外活動への支援などを担う重要な制度です。

神戸大学で学ぶ学生、そして大学のさらなる発展のために、皆様からの一層のご厚情を賜りたく、なにとぞよろしくお願い申し上げます。



神戸大学長

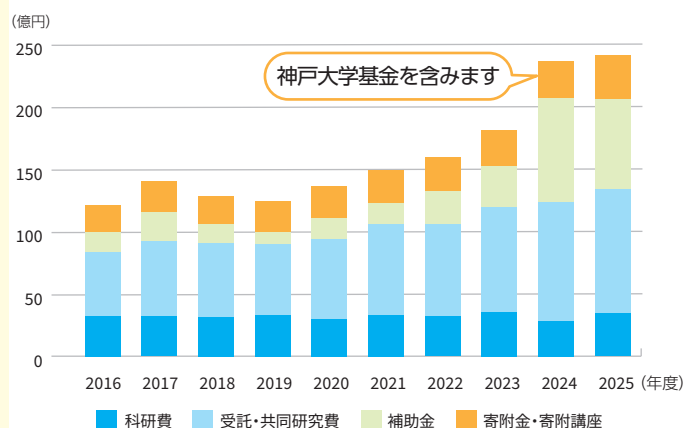
佐藤 淳平

神戸大学の未来を支えるために

神戸大学が、異分野共創研究教育グローバル拠点の構築を目指すための経営的課題として、経営資源の精査と効率的運用に加え、科研費や受託・共同研究費などの競争的資金を獲得すること、そして諸事業をサポートする神戸大学基金の安定的な維持が必要です。これらは、国からの運営費交付金の増額が難しい中で、本学に期待される社会的責務を達成し、社会に研究成果を還元する上で不可欠な取り組みです。

本学の自助努力と研究者の積極的な取り組み、何より皆様から賜る温かいご支援により、これら外部資金の額は増加傾向にあります。本学が遂行するさまざまなプロジェクトを有為なものとするために、神戸大学基金の財務基盤の安定へのご協力をお願いします。

神戸大学の外部資金額の推移

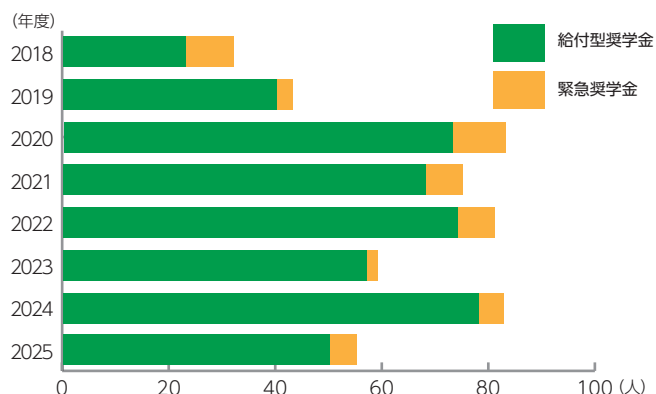


学生の修学・研究環境の向上のために

日本学生支援機構（JASSO）の「令和6年度学生生活調査結果」によれば、2024年度に全国の大学の学部学生（昼間部）の51.1%が、何らかの奨学金（JASSOの奨学金・学校独自の支援制度・民間の財団等が運営する奨学金の合計）を受給しています。一方で、学生の年間の生活費は自宅通学者が約180万円、下宿生は約243万円にのぼります。生活費に充当する定職やアルバイト収入などは約56万円あるものの、新型コロナウイルスの流行時に学生の収入が途絶えてしまったことは記憶に新しいところです。

2025年度に、神戸大学基金から修学支援のための奨学金（企業等のいわゆる冠奨学金を除く）を受給した学生は合計55人でした。基金が学生の経済的なセーフティ・ネットとなっていることへのご理解を賜り、学生支援事業にご助力いただきたく存じます。

神戸大学基金からの奨学金の給付者数



神戸大学基金による支援・助成実績(2025年度)

神戸大学基金に皆様から賜りましたご篤志を、学生等への直接的な支援事業をはじめ、大学が進めるさまざまな活動の遂行に役立てています。2025年度は、次のような使途に使わせていただき、学生の学修・研究および学生生活の環境整備と、本学に求められる学術研究の進展や社会貢献の充実を図りました。

■ 基盤事業・修学支援事業に

冠奨学金

26,980,000円

学生への経済的支援、有為な学生の育成、起業マインドの醸成などを目的に、卒業生や企業・個人の方からお寄せいただいた冠奨学金を、学生75人に給付しました。

課外活動等への助成

51,961,110円

公認団体の大会参加費・遠征費など延べ40団体に約470万円を助成しました。また、被災地等でのボランティア活動参加学生に交通費など約295万円を給付しました。さらに、特定のクラブ活動の物品購入や練習環境の充実に使途を限定した約3,078万円のご寄附を、それぞれの団体に支給しました。また、課外活動団体関連施設である学生会館の部分改修に向け、1,353万円を支援しました。

困窮学生への修学支援

8,750,000円

不慮の出来事で学業の継続と学生生活の維持に困窮が生じた学生5人を対象に1人あたり25万円を、学業優秀かつ経済的支援を必要とする学部新入生50人を対象に1人あたり15万円を給付しました。

海外学生受入れ・派遣への支援

23,000,000円

国際交流の活発化および国際化対応を目的に、学部および大学院で学び研究する外国人留学生への支援として給付しました。また、グローバルセンスを磨き、国際的競争力を身につけ、学修・研究に役立てるための留学等を支援することを目的に、海外へ派遣する学業優秀な学生への給付を行いました。

■ 使途を特定する事業に

次ページで紹介する事業・活動を主管する部局が、それぞれの事業目的を達成するために活用し、ご支援を寄せていただいた皆様のご期待にお応えできるよう尽力しています。

■ 神戸大学創立120周年記念事業に

2023年度までに賜った記念募金へのご寄附を、新しい価値を創造する世界トップクラスの研究総合大学を目指すための諸事業・活動に活用しています。



2026年3月に竣工した、情報価値創造教育棟(六甲台第2キャンパス)の建設に、記念募金の一部を活用しました。

ご支援いただきありがとうございました

寄附者からのメッセージ

神戸大学での学びは私の人生の大きな糧となりました。感謝の気持ちを込め、ささやかながら寄附いたします。神戸大学の研究が日本の学術発展に寄与することを願っております。

国立大学の資金不足の声が大きく聞こえるようになり、危機感を覚えたのでわずかながらではありますが寄附させていただきます。

世界や社会をよりよくしていけるような優秀な卒業生を輩出できるよう環境整備に少しでも使ってもらえれば嬉しいです。

若手研究者が夢を持って活躍されることを祈念しています。

物価高騰のおり、学生生活に窮する人も少なくないかと思われ、微力ながら応援致します。



学生からのお礼のメッセージ

ご支援のおかげで、能登半島での災害支援ボランティア活動を行うことができました。自費での活動には限界を感じていた中、神戸大学基金からの助成金を活用して取り組めることを知り、大変強く感じました。これからも、持続可能な形で社会貢献を続けていけるよう努めてまいります。バより感謝申し上げます。

ご支援により、日々実習やCADを用いた設計演習など、機械工学科ならではの実践的な学びに専念できております。机上の理論だけでなく、自らの手で物を作る喜びを知ることができました。今後も感謝の気持ちを忘れず、真摯に学問と向き合い、社会の発展に寄与する人材を目指します。

皆様のご支援のおかげで経済的な不安が軽減され、学業により一層集中することができています。いただいたご支援への感謝の気持ちを忘れず、神戸大学での学びを大切にしながら、将来社会に貢献できる人材となれるよう努力してまいります。

奨学金を受け取れたことは、家計が急変した状況において、経済的にも精神的にも大きな支えとなりました。学修の継続に関する不安は小さくなり、自分が興味関心のある授業を履修し、学びを深めることができました。将来は、私も後輩の大学での学びを支援できる人物になりたいです。ありがとうございました。

留学を通して、多角的な視点に触れ、実際に現地へ行かなければ分からない文化や課題を知ることができました。これからは、留学で得た経験や知見を今後の生活や学びに生かしていきたいと思っています。このような貴重な機会を与えていただき、誠にありがとうございました。

基盤事業

神戸大学が進める研究・教育の充実、社会的活動の推進、研究・教育環境の向上などを図る上で、大学の運営費からの支出を充当できない分野について、神戸大学基金が財務面でのサポートを行っています。

①学生の課外活動・ボランティア活動への助成

スポーツ・文化・社会的活動などを行う、神戸大学の課外活動団体の活動費を助成しています。キャンパスライフの充実や学生の人格形成の上で、これら課外活動やボランティア活動の活性化は重要です。また、社会への貢献、リーダーシップの醸成などの点でも活発な活動が望まれます。活動拠点となる部室や練習場所等の環境整備も欠かせません。グラウンドなどの設備の維持や改善、老朽化が進むクラブハウス（部室棟）などの

補修が急がれます。



②海外派遣・留学を体験する学生への費用給付

神戸大学では、グローバルセンスを磨き、国際的競争力を身につけ、学修・研究に役立てることを目的とする「神戸グローバルチャレンジプログラム」を実施しています。国際港湾都市として発展した神戸で、多くの先人が海外に飛躍してきた伝統を受け継ぐ意欲を応援します。参加者の渡航・滞在についての経済的な不安を払拭するために、費用の一部に充当できるよう給付制度を設けています。



③本学が受け入れる海外留学生への経済的支援

神戸大学で学び、研究する外国人留学生は、年度により異なりますが約1,000人を数えます。外国人留学生は、日本人学生にとって異文化交流や国際感覚獲得の上で大きな刺激となる存在でもあります。留学生の神戸での学生生活を支援し、国際色豊かなキャンパスライフを保つことは本学のダイバーシティ推進の面でも有益です。留学生が経済的困難から学修・研究の継続を断念することがないように、支援体制を整えています。



④大学院生（博士課程）への経済的支援

社会の望ましい方向への進展に向け、大学院研究科での高度な研究はこれまで以上に重視されています。一方、しばしば報道されるように大学院生をめぐる生活や研究の環境は厳しい現実があります。大学院生が不安なく研究に打ち込み、優れた成果を生み出すことをサポートするために、対象を博士課程在籍者（約1,500人）に特化した支援制度を設けています。



⑤その他

これらに加えて、本学での研究・教育のレベルアップ、学生・大学院生・留学生などの生活環境の向上、本学の附属・関連機関の利用環境の改善などに資する目的のために、学内での検討を経て神戸大学基金を活用します。特定の学生を対象とした、寄附者のお名前を冠する奨学金制度もあります。



修学支援事業

経済的事情から学修・研究の継続や学生生活の維持が難しくなることがないように、学業条件を満たす学部1年次生への給付型奨学金と、自然災害などの罹災や家計維持者・学費負担者の不慮の出来事などにより経済的サポートを必要とする学生への緊急奨学金の給付制度を用意しています。加えて、2025年度より、障害のある学生等への個別の障害に応じた合理的配慮を実現する環境を整えることに、本事業から支援できるようになりました。

学業や研究への意欲の高い学生が経済的困窮により志を断念したり、障害を理由として学問的探究の途が閉ざされるようなことがあってはならないと考えます。本学で学生が困難なく学べるよう、神戸大学基金では修学支援事業の充実を目指しています。



研究等支援事業

神戸大学に求められる専門的研究の深化・高度化と、その学術的成果の社会還元を促進するために、2025年1月にスタートした若手研究者の研究活動を支援する事業です。長期的で広範な研究が必要な分野、外部資金を調達しづらい分野、社会的意義を持ちながらも研究継続が困難な分野などに、アカデミックな学究を進めるための財政的支援が必要とされています。また、“ポストドク”問題ともいわれる、雇用面や生活面で不安定な環境に置かれている若手研究者や学生に対し、研究助成を行います。本学で安定的に研究を継続し、大きな成果を生み出すことを期待しています。



使途特定事業

神戸大学の学部・大学院、研究拠点・センター、学校・園や病院などの附属機関、ならびに大学運営にかかる学内組織が、特定の事業を遂行するために、広くご寄附を募っています。2026年7月現在、下記の11の事業でご支援をお願いしています。各事業の詳細は、神戸大学基金ウェブサイトをご覧ください。

- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| ① 出版会出版基金 | ⑦ ダイバーシティ基金 |
| ② 医学部附属病院あじさい基金 | ⑧ 外国人留学生教育支援事業募金 |
| ③ 附属学校部教育研究基金 | ⑨ 医学部保健学科・大学院医学系研究科（名谷地区）教育・研究基金 |
| ④ 海洋底探査研究支援基金 | ⑩ MBA多様性推進基金 |
| ⑤ 数理・データサイエンスセンター教育研究支援基金 | ⑪ 医学部附属国際がん医療・研究センターしおさい基金 |
| ⑥ 計算社会科学研究センター研究支援事業募金 | |



クラウドファンディング

教員や研究チームが特定の研究プロジェクトを進めるために、また学生団体が何らかの目標を達成するために、クラウドファンディングによって広く資金を募集することがあります。一定の基準を満たし大学が承認したものは、民間のクラウドファンディング受託会社が運営するウェブサイト上に、神戸大学の名称を附して掲出します。ご協力いただけますと幸いに存じます。これまで実施したクラウドファンディング事業の実績は次の通りです。（年月は募集期末）

- 2019年6月 海洋底探査センター「地震を起こす海底活断層を、大阪湾全域で探査する！」
- 2020年12月 医学研究科教員「トリプルネガティブ乳がん 再発を防ぐ治療薬、確立のための臨床試験を」
- 2021年4月 工学研究科教員「涙で乳がんを検出する！研究を加速させる一歩にご支援を」
- 2021年10月 体育会サッカー部「創部100年の歴史をつなぐ！神戸大学サッカー部の本気の挑戦！」
- 2022年5月 交響楽団「コロナに負けず音楽を奏でたい！神戸大学交響楽団にご支援を」
- 2022年8月 学生フォーミュラチームFORTEK「神戸大学学生フォーミュラチームの挑戦！全国大会での上位入賞を目指す」
- 2023年8月 海事科学研究科教員「スナメリの未来を救え！大阪湾で生きるスナメリが人と共存するために」
- 2024年7月 医学研究科教員「造血幹細胞研究 新しい骨髄移植技術開発で子どもたちに“治る未来”を」



＝ One Kobe Familyの旗のもと神戸大学を応援します ＝

神戸は、幕末の開港のときに日本の文明開化の窓口となった街です。また神戸港は世界で活躍した日本人を送り出した歴史を持ちます。そのような国際都市・神戸で伝統を築いた神戸大学で学生生活を送ったことを、私は誇りに思っています。諸先輩から受け継いだ進取の気風、開放的で国際感覚に富む考え方、学究を深め真理を探究する姿勢、またビジネスマインドや社会的リーダーシップの醸成など、私の人生におけるベースは神戸大学で培われました。



神戸大学校友会会長

坂井 信也さん（神戸大学経済学部1970年卒業/阪神電気鉄道株式会社名誉顧問）

現在の神戸大学は世界を意識し、さまざまな分野においてトップレベルの学術的成果を目指しています。母校が日本の高等教育・研究を牽引し、世界に伍する存在として一層力強い姿になることを期待してやみません。神戸大学を母校とする皆さん、また神戸大学をご支援くださる皆さんとともに、神戸大学基金を通じ母校と後輩への応援を続けてまいりたいと思います。

サポートにはさまざまな方法があります

①神戸大学基金が支援する諸事業のうち、特定する事業への直接的なご寄附

前ページの「事業・活動」をご参照ください。なお、新設や変更の事業がございますので、最新の状況はウェブサイトをご確認ください。

②「古本募金」を通じたご寄附

ご不要の書籍・CD・DVDをご提供いただき、買い取り額を基盤事業へのご寄附として活用します。株式会社バリューブックスが運営する「チャリボン」のウェブサイト <https://www.charibon.jp/partner/kobe-u/> をご覧ください。



③「エンダウメント型基金」へのご寄附（新設）

いただいたご寄附は神戸大学基金の「エンダウメント」として寄附金元本を諸事業には直接支出せず、金融機関で長期運用した運用益により教育研究等活動の支援を行う仕組みです。

※詳細は企画部卒業生・基金課へお問い合わせください。

神戸大学の支援者の皆様とのコミュニケーター



「ファンドレイザー」



神戸大学の卒業生・修了生の皆様をはじめ、本学とのご縁がある方や、神戸大学基金へのご支援を賜る企業様・団体様とのコミュニケーションの接点となるのが、本学のファンドレイザー職です。神戸大学基金の支援事業や活用についてのご質問、企業様からのサポート事業、ネーミングライツなどのお問い合わせ、冠奨学金設立や遺贈のご相談など、神戸大学基金に関する窓口として皆様のお目にかかります。

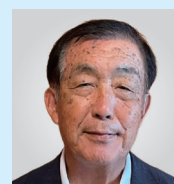
2026年3月より、ファンドレイザー職は3名体制となりました。寄附や基金に関するご相談がございましたら、どうぞお気軽にお声かけください。



百瀬 洋
（在 東京）



山口 博人
（在 神戸）



伊澤 幸嗣
（在 神戸）

神戸大学の関係者が集う行事へのご参加を

■ホームカミングデイ

毎年、秋に開催しています。「振り返れば、六甲の山並み～あの頃の友に会いたい」をテーマに、本学卒業生・修了生、神戸大学への留学経験者、教職員が集います。ご家族様もどうぞご参加ください。2026年度は11月7日（土）、全学の大学祭『六甲祭』の開催日に行います。

■神戸大学人の集い

毎年7月に神戸と東京で開催しています。本学の卒業生・修了生の懇親の場を設けるとともに、学長はじめ大学執行部が母校の近況を報告し、ご参加の皆様からのご意見を賜る機会です。

◆このほか、体育会系クラブの対外試合や音楽・演劇サークルなどの公演・催事、市民公開イベントなど、多彩な交流の場がございます。ぜひ、神戸大学を身近に感じるひとときとしてご参加ください。



神戸大学基金に多くのご支援をいただき、ありがとうございます

2025年度、神戸大学基金に

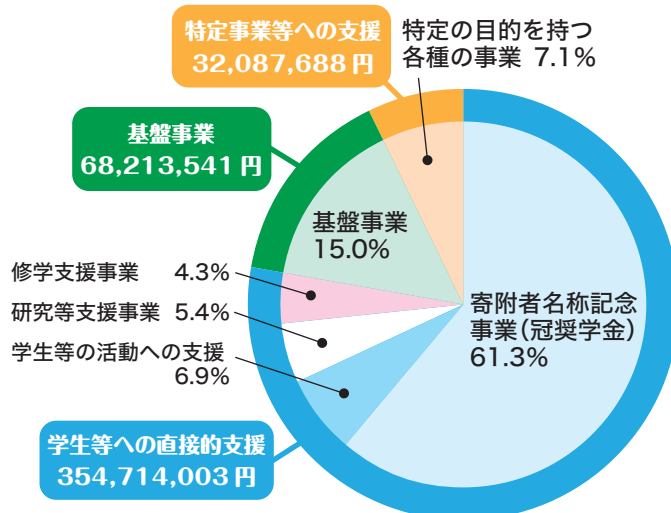
455,015,232円 (寄附講座・運用益を除く)

のご寄附をいただきました。

誠にありがとうございました。

ご寄附の内訳 (2025年4月～2026年3月)

法人	23 件	291,924,213 円
団体	10 件	3,019,499 円
個人	1,944 件	141,966,995 円
古本募金・クラウドファンディングなど		18,104,525 円



感謝の気持ちを末永く

神戸大学基金の特定の事業に一定額以上のご寄附をいただいた方は、ご芳名を寄附者銘板に掲出し、末永く顕彰いたします。また、一定の条件に達した方は、出光佐三記念六甲台講堂内の座席にご芳名の銘板を設置します。



● 1935(昭和10)年に神戸商業大学講堂として竣工。国登録有形文化財



● 出光佐三記念六甲台講堂の座席の銘板

神戸大学基金フェロー

暦年(1～12月)に一定額以上のご寄附をいただいた方には、「神戸大学基金フェロー」の称号と記念品を贈呈します。神戸大学への忌憚なきご意見を拝聴するとともに、本学の現状や方針についてご説明し、学長はじめ大学執行部との懇親を深める会にご招待します。



税制上の優遇措置について

所得税の優遇措置

「修学支援事業」及び「研究等支援事業」を指定するご寄附は、確定申告を行う際に**所得控除**または**税額控除**のいずれかをお選びいただけます。

※「修学支援事業」及び「研究等支援事業」以外を指定するご寄附の所得税の優遇措置は、**所得控除**のみです。

所得控除

寄附金額(その年の総所得金額の40%を上限とする)から2千円を引いた額が所得税の課税所得金額から控除されます。

税額控除

寄附金額(その年の総所得金額の40%を上限とする)から2千円を引いた額の40%が所得税額から控除されます。(所得金額の25%を限度とする)

※株式等の現物資産寄附の場合、通常はみなし譲渡所得として課税されますが、一定の要件を満たす大学等への寄附では課税されません。詳しくは神戸大学企画部卒業生・基金課までご相談ください。

《減額される所得税の目安》

例: 給与収入700万円・課税所得400万円の方が3万円寄附した場合

所得控除

$(3万円 - 2千円) \times 20\% (\text{所得税率}) = 5,600円$

税額控除

$(3万円 - 2千円) \times 40\% = 11,200円$

※上記の金額はあくまでも目安です。一定の寄附金額または課税所得金額を超えると、**所得控除**の方が減税額が大きくなります。

個人住民税の優遇措置

神戸大学を寄附金控除の対象法人として条例で指定している都道府県・市町村(兵庫県・神戸市)にお住まいの方は、個人住民税の控除を受けることができます。控除率は総務省ウェブサイト(都道府県・市区町村が条例で指定する団体への寄附金について https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_zeisei/czaisei/czaisei_seido/79172_2_kojin.html)をご覧ください。

なお、所得税の確定申告を行う方は個人住民税の申告は不要です。確定申告を行わず、個人住民税の寄附金控除のみを受ける場合、自治体への申告が必要です。

ネーミングライツによる学内施設への名称付与

施設などに企業名やブランド名を冠する、「ネーミングライツ」を神戸大学でも推進しています。神戸大学基金とは異なる形ですが、企業様からのネーミングライツ料を施設整備費等に充当することで、本学の教育研究環境の向上につながっています。2026年7月現在、12か所の施設に命名していただいています。



※写真は、2026年7月1日の時点で、ご契約から満4年以上の施設を掲載しています。

遺贈でのご寄附

神戸大学にゆかりを持つ方におかれましては、皆様のご遺志に基づく寄贈による相続財産のご寄附を謹んで承ります。後進世代への応援として、大学・大学院での研究発展のサポートとして、社会的活動や国際交流などの活発化の支援として、皆様の思いを神戸大学基金にお託しください。皆様の思いを大切に受けとめ、大学の発展のために活用させていただきます。卒業生・基金課にて、ご意向の確定、相続発生時の税務上の扱いなど、個別のご相談を承ります。

ご寄附の方法



金融機関等でのご寄附

別添の払込取扱票に必要事項をご記入の上、金融機関・郵便局でお振り込みください。

※コンビニエンスストアでは使えません。

※ゆうちょ銀行（郵便局）・三井住友銀行・みずほ銀行・みなと銀行・りそな銀行では、払込手数料・振込手数料はかかりません。

1

払込取扱票にご記入ください。

2

金融機関・郵便局でお手続きください。

金融機関等の窓口で10万円を超える現金振込を行う場合、本人確認書類のご提示が必要です。また、ATMでは10万円を超える現金振込はできません（通帳またはキャッシュカードをご利用ください）。



インターネットでのご寄附

『神戸大学基金』のウェブサイト内の、「お申込み方法」のページ
<https://www.office.kobe-u.ac.jp/kikin/apply/index.html>をご覧ください。
クレジットカード・銀行振込（インターネットバンキング／ATM／窓口）・PayPay・amazon payの決済方法をお選びいただけます。

ご利用可能なクレジットカード

お申し込み方法



※現金以外の有価証券等のご寄附については、企画部卒業生・基金課にお問い合わせください。

※ご記入・ご入力いただいたご住所・お名前宛てに領収書をお送りします。金融機関等での振込みは入金確認後約3週間、クレジットカード、PayPay、amazon pay 決済をご利用の場合最長で3か月程度かかることがあります。

神戸大学基金は、反社会的勢力と認められる個人・法人・団体、または本学が教育研究上支障があると認める個人・法人・団体などからのご寄附については受け入れを認めず、入金済みの寄附金は返還いたします。上記の理由を除き、本学が受け入れた寄附金は返還いたしかねますのでご注意ください。

神戸大学基金に関するお問い合わせ

神戸大学企画部卒業生・基金課

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1

TEL: 078-803-5414 (平日9時～12時、13時～17時) FAX: 078-803-5024

E-Mail: kikin@office.kobe-u.ac.jp

<https://www.office.kobe-u.ac.jp/kikin/>

神戸大学基金

